くしろ
市議会だより
News from Kushiro City Assembly

くしろ市議会だより
2026年11月 No.94

委員会審査ピックアップ ……1P
本会議(質疑・一般質問)…2〜3P
委員会審査ほか ……3P
定例会審議結果ほか ……4P

くしろの市民の皆さんと
くしろ市議会の
懸け橋となる情報紙

令和8年9月定例会が開催されました。今議会の概要をお伝えします。

Pick Up! 事務事業の見直し案が変更に


総務文教常任委員会 市長統括質疑

主な変更点

❶補助金について

当初案	見直し後
一律10%削減	一律削減案は見直し

❷使用料・手数料の値上げ幅

当初案	見直し後
最大1.5倍	最大1.25倍

総務文教常任委員会において、委員から「令和９年度に向けた事務事業の見直しについて、令和８年６月議会で示された使用料・手数料の見直し案や補助金の減額案が、今回さらに見直されることとなったが、その決断に至った経過を示してほしい。」と質問があり、市長から「補助金については、今般のインフレーション局面の中で補助金減額を行うことにより、各団体における事業の継続が困難となるとの意見もあったことから、一律10%の削減は難しいと判断した。また、使用料・手数料についても、改定率の上限を1.5倍に設定することによる市民の過重な負担感から、利用者数の減少が懸念されたため、1.25倍に引き下げることとした。」との答弁がありました。

Pick Up 1 事務事業の見直しにおける新たな自主財源の確保策は

総務文教常任委員会　梅津 則行 委員長

Q　事務事業の見直しにおいて、市民負担を減らすためにも、歳出削減だけでなく自主財源の確保にも知恵を出すべきであると考える。市有地を売却することで財源確保につなげられると考えるが、具体策はあるか。

A　これまでも市有地の売却に取り組んできたが、市場性の観点などから売却につながりにくい状況にあると認識している。今後、公共施設の統廃合等により、新たに土地が生じた場合は、積極的に売却を進める方向で検討したい。また、売却が難しい場合においても貸し付けを視野に入れるなど、財源確保の手法について研究していきたい。

Pick Up 2 公園のトイレ破損被害の対策は

経済建設常任委員会　山口 光信 委員長

理事者から、令和８年のトイレ破損被害額が、４公園合わせて約319万円であったことが報告されました。

Q　市が管理する公園のトイレが破損被害にあっているが、悪質なものであり、治安の面でも問題がある。町内会等への周知、防犯上の見回りや防犯カメラの設置など、どのような対策を検討しているのか。



▲被害にあった鶴ケ岱公園のトイレ

A　警察への被害届の提出や報道を通じて幅広く周知を行ったほか、過去に何度も被害のあった鳥取10号公園については、防犯カメラの設置に向けて検討している。

Pick Up 3 釧路市生物多様性地域戦略（素案）による新たな取り組みは

民生福祉常任委員会　金安 潤子 委員長

Q　「釧路市生物多様性地域戦略（素案）」に基づき、さまざまな新しい施策を行っていく上での予算が必要になると思うが、予算の確保についてはどのように考えているか。

A　本市の厳しい財政状況から、大幅な予算確保は難しいと考えている。一方で、戦略策定後には新たな自然環境保全に向けた具体的な取り組みが必要であることから、釧路国際ウェットランドセンターなどの外郭団体やボランティア等の協力を得ながら、市民と一緒に行う自然環境保全の取り組みについて検討している。

次回の12月定例会は12月3日（木）午前10時から開会の予定です。

発行／釧路市議会　編集／議会広報広聴特別委員会　釧路市黒金町7丁目5番地　Tel.31-4581 Fax.23-7679　E-mail : gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

ホームページ
https://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html

フェイスブックページ
https://www.facebook.com/kushiroshigikai

インスタグラム
https://www.instagram.com/kushiroshigikai

本会議

【質疑・一般質問】 議員18人が、付託議案や「市の一般事務」について、日頃から感じている疑問や、新たな行政課題への対応など、それぞれの視点でテーマを決めて質問しました。

▶議員名の右に掲載している二次元コードから、スマートフォン等により録画中継をご覧いただけます。（※用語解説は4ページ下段にあります。）

■9月3日㈬



自政ク
夏堀　めぐみ
議員

「ネーミングライツ事業の拡充に向けた整備について」

問　自主財源の確保に向け、道路や公園を含めたネーミングライツ事業が全国で広がっている。市がこれまで実施した同事業の実績と事業拡充に向けた今後の方針について、市の見解を示してほしい。

答　ネーミングライツ事業は既に10件12施設の導入実績があり、ノウハウは蓄積されている。過去にはネーミングライツがもととなり、企業版ふるさと納税につながった事例もある。他都市を参考に、庁内でしっかり検討をし、前に進めるよう取り組んでいく。



創志会
五十嵐　誠
議員

「窓口受付時間見直しの本格運用に向けた今後の方針は」

問　窓口受付時間見直しの試験運用について、受付時間短縮の目的と令和８年８月の受付件数の実績ならびに現時点で把握している効果を示してほしい。また、今後の本格運用に向けた考えについて市の見解を聞きたい。

答　窓口受付時間の短縮については、市民サービスの維持・向上、職員の働き方改革や労務管理の適正化を目的としている。令和８年８月は午前９時～午後４時までの受付件数が約94％を占め、事前調査の約90％から上昇した。今後も件数の推移や課題、繁忙期などを踏まえ、本格運用を適切に検討していきたい。



市民連合
板谷　昌慶
議員

「スポーツ合宿誘致の強化に向けた施設整備を」

問　冷涼な気候を生かしたサッカー合宿誘致は、地域経済への波及効果が期待できる。プロチームのキャンプ誘致が十分に実現していないことを踏まえ、天然芝のグラウンドなど必要な競技環境の整備を検討すべきである。「稼ぐ力」の強化につなげるため、整備を進める考えは。

答　冷涼な気候は、本市が持つ大きな強みであり、合宿や大会による経済波及効果も大きいと認識している。一方で、天然芝のグラウンドをはじめとする施設環境の維持管理には相応のコストが必要となることから、多様な財源確保の可能性について幅広く情報収集を行うとともに、先進事例も参考にしながら、アスリートから選ばれる釧路を目指していく。



公明党
松原　慶子
議員

「災害に備え、平時からの連携強化を」

問　巨大地震に備え、罹災証明書を迅速に発行し支援するため、市と建築士会、建設業会等が平時から連携する体制づくりが必要ではないか。また、ペット同行避難訓練や獣医師等との連携、「耳で聴くハザードマップ（※1 Uni-VoiceBlind）」の積極的な活用・周知が必要だと考えるが、市の見解を示してほしい。

答　罹災証明書の迅速かつ円滑な交付に向け、庁内だけではなく、外部の協力を得られる体制を整えていきたい。また、ペット同行避難訓練は避難所となる施設管理者と協議し、体制が整えば獣医師等に訓練への参加を依頼したい。「耳で聴くハザードマップ」は有効なシステムと認識しており、関係施設等への周知に努めていく。

※用語解説は4ページ下段にあります。

■9月7日㈰



自政ク
大澤　恵介
議員

「市職員の副業拡大に向けた市の考えは」

問　令和７年６月の総務省通知により、市職員の営利企業の従業員としての副業が事実上可能となったが、市でも一次産業など担い手不足に悩む分野から副業を解禁するべきと考えるが、市の見解を示してほしい。

答　今回の通知では幅広い兼業を想定した考え方が示されており、市職員の活動範囲を大きく広げることが可能となる内容であると認識している。一方で、兼業による長時間労働のリスク等が、市民からの理解を得られるかという点を十分に考慮する必要があることから、対象範囲の拡大については、他都市の状況も踏まえながら、慎重に研究を進めていく。



創志会
大越　拓也
議員

「『釧路の何が人を呼ぶ？』交流人口をデータで捉え、※2EBPMで政策・予算へ」

問　観光やスポーツ、イベント、施設利用などによる交流人口に関して各部署が保有するさまざまなデータを横断的に捉え「釧路の何が人を呼ぶのか」を分析することが重要である。横須賀市の事例を参考に、EBPM（証拠に基づく政策立案）の考え方を政策形成や事業評価、予算判断に生かしては。

答　交流人口を含む経済波及効果の視点でのデータは事業効果の検証に有効である。また、総合政策部では横断的にデータを活用する役割も担っており、横須賀市の取り組みについても、当市の政策形成等に生かすことができるか、情報収集に努めていきたい。

※用語解説は4ページ下段にあります。



市民連合
宮田　団
議員

「『※3おでかけパスポート70』に係る利用者負担額の維持を」

問　「おでかけパスポート70」の乗車１回当たりの利用料を100円から200円に引き上げれば、高齢者の外出控えが進み、健康づくりや介護予防という事業目的にも逆行することになる。市民負担を増やさず、現行の利用料である100円を維持すべきと考えるが、市の見解を示してほしい。

答　増加する事業費を踏まえると、本事業を将来にわたり長く継続していくためには利用者の負担増は避けられない状況と判断している。一方で、本パスポートの社会参加や健康づくり、公共交通の利用促進、地域への経済効果等も認識しており、ご意見や影響を精査した上で、12月議会で方向性を示したい。

※用語解説は4ページ下段にあります。



公明党
河合　初恵
議員

「各種定期券の利用促進に向け、周知の充実を」

問　70歳以上の高齢者の外出促進に向けたバス利用助成に関して、乗車する回数によっては「※3おでかけパスポート70」より、運転免許証返納後３年間購入ができる「※4グリーン定期Ｓ」や「※5シルバー定期券65」の方が、お得な場合がある。こうした違いが分かりにくいことから、町内会等を通じて、高齢者に行き届く周知をすべきではないか。

答　３カ月定期を購入する場合「グリーン定期Ｓ」は月27回以上「シルバー定期券65」は月36回以上バスに乗車する場合は「おでかけパスポート70」よりお得になる。周知方法を再度工夫し、引き続き市民に分かりやすい案内に努めていく。

※用語解説は4ページ下段にあります。

■9月8日㈪



創志会
藤井　若菜
議員

「北陽高校の移転検討に関する、当事者等への合意形成プロセスの透明性確保を」

問　当事者への意見聴取や説明責任を果たす合意形成プロセスの透明性を今後どのように担保するのか、市の見解を示してほしい。

答　学校関係者に説明を行い、さまざまな意見が寄せられた。加えて、市民には市政懇談会において市内７会場で説明した。意見も事前の施設改修などに集約されてきたことから、各会場からの意見は十分に出尽くしたと考えており、説明責任は果たしてきたものと認識している。



公明党
松橋　尚文
議員

「公共施設における『※6ミライロID』の活用を」

問　障がい者は、身分証明や各種割引制度を利用する際に提示するため、障害者手帳を常時持ち歩かなければならず、紛失等による個人情報漏えいなどのリスクや手帳を提示する心理的負担がある。これらを少なくすることを目的として開発されたアプリケーションである「ミライロID」を釧路市でも使用できるようにすべきではないか。

答　「ミライロID」は、障害者手帳の紛失に対する不安や、手帳を提示する際の心理的負担を軽減し、障がいのある方の利便性向上につながるものと認識している。本市としても、公共施設を利用する障がいのある方の利便性向上を図るため、「ミライロID」の活用に向けて準備を進めていく。

※用語解説は4ページ下段にあります。



共産党
村上　和繁
議員

「起訴猶予処分に対する市長の認識は」

問　神社に清酒を奉納したことにより起訴猶予処分となったことについて、市長は当該行為が法に違反するとの認識があったのか、または、法律に違反はするが慣例的に行われていたので問題がなかったと思っていたのか、認識を示してほしい。

答　公職選挙法に違反しているとまでは思っていなかった。先輩方や同僚議員もやっていたので、大丈夫だと思い、奉納した。



自政ク
金安　潤子
議員

「公約の達成状況と任期後半に向けた展望、首長としての責任を問う」

問　本年11月に任期の折り返しを迎える鶴間市政だが、市長は2024年の市長選挙において掲げた公約の達成状況をどのように評価し、任期後半に向けてどのように進めていくつもりか。また、この２年間、不適切発言が繰り返されてきたが、首長としての資質と言葉の重みについての認識を伺いたい。

答　私の公約における具体的な取り組みもある程度実現しており、引き続き、公約の実現に資する取り組みを一つ一つ進め、実のあるものにしていきたいと考えている。また、市長の発言の責任は重く、常にまちづくりへの影響などを考えて発言すべきものと認識している。

市議会ホームページで発言通告一覧をご覧いただけます。

■9月4日㈮



共産党
小山　秀人
議員

「ごみ処理手数料の引き上げに伴う、支援措置等の検討は」

問　事務事業の見直しにおいて、ごみ処理手数料の引き上げが盛り込まれ、その効果額として約5,000万円が見込まれているが、手数料の引き上げにより、低所得世帯、年金受給者、子育て世帯ほど負担感が重くなっている状況にあると考える。今回の負担増加に当たって、低所得世帯、多子世帯等に対する影響額の試算や、減免・支援措置の検討は十分に行われたのか、認識を示してほしい。

答　乳幼児や介護を必要とする方がいる世帯に対し、これまでも指定ごみ袋の支給を行ってきたところである。低所得者や子育て世帯等に対する支援については、今後とも各種の福祉政策や生活支援制度全体の中で、適切に対応していくべきものと考えている。



無所属
木村　隼人
議員

「Cool釧路市観光大使として、野口健氏の任命を」

問　登山家であり、自然環境保護や防災被災地支援の分野で全国的な発信力を持つ野口健氏は、本市を訪れ釧路湿原の価値を発信した実績もある。同氏をCool釧路市観光大使として迎えてはどうか、市の見解を伺いたい。

答　釧路市に愛着や魅力を感じられている方は、応援団になっていただける方と認識している。また、観光大使として手を挙げていただけることは非常にありがたく、就任については、本人の意向の下、選定委員会において要件等を確認した上で検討していくことは可能であることから、問い合わせがあれば対応していきたい。



共産党
西村　雅人
議員

「物価高騰対策として、福祉灯油、エネルギー代補助の実施を」

問　物価高騰で低所得世帯の暮らしは大変である。特に暖房は必要不可欠で、灯油代やガス代がかさみ生活を圧迫している状況にある。今年度こそ福祉灯油、エネルギー代の補助を求めるが、市の見解を示してほしい。

答　昨今の灯油価格を含む物価高騰は、全ての市民生活や経済活動に大きく影響を及ぼしていることから、国において必要な措置が講じられるべきものと認識している。本市においては、市民1人当たり1万円分の「くしろ市民応援クーポン」を配付するなど、幅広い層に支援が行き届くよう取り組んでいる。



自政ク
山口　光信
議員

「今後の成長戦略として『スポーツ部』の設置を」

問　令和7年度、過去最高のスポーツ合宿数を受け入れ、各種大会も開催されるなど、釧路市は冷涼な気候と培われたスポーツ文化という大きな強みがある。今後の成長戦略として、庁内横断的にスポーツを推進する「スポーツ部」を設置するべきではないか。

答　スポーツ合宿や大会の誘致がもたらす経済効果は大きく、スポーツに関する取り組みは、非常に重要な政策であると認識している。スポーツ行政のさらなる強化のためには、スポーツ部の設置も選択肢の一つと認識するところであるが、まずは関係各課が十分に連携し、スポーツ行政のさらなる充実を図ることが重要と考えている。



公明党
月田　光明
議員

「基金等を活用した介護事業所への支援を」

問　社会福祉法人等介護事業所の経営が物価高騰などの影響で厳しい中、介護給付費準備基金の活用もしくは他の財源で「（仮称）経営持続化支援給付金」の創設を検討すべきでないか。

答　事業所への経営支援については、国が定めた介護報酬の中でサービス提供が行われるという介護保険制度の趣旨を踏まえると、市独自に介護給付費準備基金を活用して対応することは難しいが、これまでの多面的な支援策を講じつつ、今後もその必要性を見極めながら、検討を進めていきたい。



共産党
梅津　則行
議員

「病院事業会計における収益的収支の見通しは」

問　新棟建設等事業費が金利上昇などにより増加したが、収支試算で示された「令和25年度には収益的収支は黒字に転換する」という見通しに変わりはないのか、市の見解を示してほしい。

答　事業費の増加や、金利上昇に伴う支払利息の増額が見込まれる一方、診療報酬改定や新たな地域医療構想策定などによる収入増の要素もあることから、今後の金利動向や制度改正の状況を的確に見極めながら、早い段階で収支試算を示していく。

委員会審査

今定例会では、4常任委員会および2特別委員会の審査を行いました。
1面に掲載した委員会以外の審査内容をお知らせします。

予算決算常任委員会　　宮田　団 委員長

今定例会の予算決算常任委員会は、補正予算に関する審査のほか、令和7年度の決算に関する審査を行いました。
各分科会の審査の中から注目する内容をご紹介します。



旧日銀釧路支店「土地の無償譲渡」の妥当性は　　総務文教分科会

Q. 旧日本銀行釧路支店の利活用に係る企画提案公募では、土地を0円で譲渡し所有権を移転することを前提としている。現在、事務事業の見直しを行い、自主財源の確保についても議論されている中で、その判断は妥当なのか。

A. 不動産鑑定の結果、既存建物の解体費用や耐震改修費用等が土地の評価額を上回ることから、資産価値を踏まえて土地を無償譲渡し、所有権を移転する方針とした。今後、民間活用が実現すれば固定資産税が歳入として見込まれるため、引き続き所有権移転を含む企画提案募集を進めていきたい。

国際チャーター便の便数増の見込みは　　経済建設分科会

Q. 大韓航空による国際チャーター便が令和8年7月15日から8月1日までに延べ6日間運航された。韓国からの旅行者への宿泊助成や釧路空港での受け入れ体制の整備に対し支援を行ったが、こうした予算を増やすことで、運航便数がさらに増える見込みはあるか。

A. 本年度は宿泊を促す取り組みとして助成を行ったもの。地域の魅力を知ってもらうことが重要であり、積極的な情報発信により宿泊者増を図っていきたい。

病院事業会計の収益的収支は　　民生福祉分科会

Q. 病院事業会計における収益的収支について、この3年間は赤字が続いて未処理欠損金が生じている。患者数の減少や医療経費の増加などさまざまな要因はあるが、これらを踏まえて令和8年度は病院事業会計全体としてプラスとなるような取り組みはされているのか。

A. 現在、6月の診療報酬改定の影響で当院の収益は12～13%の増で推移している。今後さらに収益を上げるよう、黒字化に向けて取り組んでいく。

石炭対策特別委員会　　大澤　恵介 委員長

「事務事業見直しの検討状況は」

Q　事務事業の見直しについて、炭鉱技術研修支援事業に関する石炭産業対策協議会補助金の廃止が項目に上げられているが、懸念はないか。

A　当該補助金は、海外から来釧した炭鉱技術の研修生に配布するパンフレット製作や、石炭に関する取り組み等をPRするパネルの製作などの事業を対象としている。補助金の見直しについては、関係団体等と協議しながら、事業に支障のないよう進めていく。

都心部市街地整備特別委員会　　西村　雅人 委員長

「バスターミナルを北側に配置した経緯は」

Q　釧路都心部まちづくり計画の改訂の中で、バスターミナルを北口に配置する案が示されているが、その経緯を示してほしい。

A　コンサルタントを通じて検討した結果、駅周辺を一体的に利活用するためには、北側にバスターミナルを配置することが望ましいと考えている。今後、民間事業者との協議の中で、確認や変更すべきことなどが出てくる可能性もあるが、まずは、市としての方向性を示し、今後の検討のたたき台とするため、北側への配置案を示したものである。

姉妹都市親善訪問

7月1日から3日の日程で畑中優周議長、髙橋一彦議員が姉妹都市である鳥取県鳥取市を訪問し、深澤義彦市長と市議会の星見健蔵議長、長坂則翁副議長への表敬訪問などを行いました。

今回の親善訪問を通じて鳥取市との友好の絆と相互理解を深めるとともに、両市が今後も末永く交流していくことを確認しました。



▲鳥取市議会の星見議長（左から2番目）、長坂副議長（一番左）への表敬訪問

議会改革の取り組みをホームページで公開します

議会改革特別委員会　大越　拓也 委員長

議会改革特別委員会では、これまで議会運営や制度に関する課題について議論を重ねてきました。このたび、一定の整理がなされた事項を、市民の皆さんに分かりやすくお伝えするため、市議会ホームページで順次紹介することとしました。委員会の設置経緯や主な検討事項とあわせて掲載し、より開かれた議会を目指していきます。

会派略称説明

自政ク	自民市政クラブ
共産党	日本共産党議員団
公明党	公明党議員団
市民連合	市民連合議員団
創志会	創志会

釧路公立大学の皆さんと意見交換を行いました

7月22日、議会広報広聴特別委員会が中心となり、釧路公立大学の授業の一環として学生の皆さん53人と意見交換を行いました。

当日は、市役所庁舎内の見学、市議会の概要説明を行った後、グループに分かれて自由な形で意見交換を行いました。終了後に実施したアンケートでは、学生の皆さんからは「市議会議員が身近に感じられた」「自分の意見を市議会議員へ伝えることができて有意義だった」などの感想が寄せられ、議員からは「市外出身の方からも当市の新鮮な感想、さまざまな課題を聞くことができ、今後の議員活動に生かせる貴重な場となった」などの意見が出されました。



くしろまちトーク！を開催します！

「くしろまちトーク！」の開催日が決まりました！



市民の皆さんとの対話の場としてこれまで開催してきた「議会報告会」をリニューアルし、新たに「くしろまちトーク！」を開催します。

市民の皆さんと議員が**「一緒に語り合う場」**としたいと考えております。

今の釧路、未来の釧路について、暮らしや地域、まちづくりへの思いなど、ぜひお気軽にお聞かせください。

また、**「イオンモール釧路昭和」での日曜開催**や、**参加者を40代までとする「わかもの会場」**も設けています。

参加ご希望の方は、事前に電話やメール、オンライン登録フォームでお申込みをお願いします。（当日参加も可）

多くの皆さんのご参加をお待ちしております。（参加無料）

参加申し込み・お問い合わせ

TEL **31-4581（議会事務局）**

gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

右の二次元コードからオンライン登録フォームで申し込むことができます。

日　時	会　場	参加市議会議員
11月8日（日） 10:30～12:00	**イオンモール釧路昭和** 2階 旧道新文化センター ※ゲームセンターの向かい	大澤　恵介／藤井　若菜／草島　守之 畑中　優周／松橋　尚文／村上　和繁 板谷　昌慶／宮田　団
11月9日（月） 10:30～12:00	**釧路市役所** 防災庁舎 1階多目的スペース	齋藤　賢之／夏堀めぐみ／山口　光信 木村　隼人／大越　拓也／月田　光明 梅津　則行／松尾　和仁
わかもの会場 ※参加者は40代以下限定		
11月9日（月） 19:00～20:30	**釧路市役所** 防災庁舎 1階多目的スペース	金安　潤子／髙橋　一彦／五十嵐　誠 松原　慶子／河合　初恵／小山　秀人 木村　勇太／西村　雅人

※参加議員は変更になる場合があります。

令和８年第４回９月定例会審議結果

◎全会一致で可決（認定・同意）となったもの（27件）

市長提出議案		議案	
予算	令和８年度 一般会計補正予算	条例	河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例
	令和８年度 介護保険特別会計補正予算		景観条例の一部を改正する条例
	令和８年度 動物園事業特別会計補正予算	その他	訴えの提起の件
	令和８年度 病院事業会計補正予算		市道路線の認定の件
決算	令和７年度 病院事業会計決算認定の件		工事請負契約の締結に関する件（令和８年度堀川団地Ｃ棟公営住宅建築主体工事）
	令和７年度 水道事業会計決算認定の件		工事請負契約の締結に関する件（令和８年度堀川団地Ｃ棟公営住宅管設備工事）
	令和７年度 工業用水道事業会計決算認定の件		工事請負契約の締結に関する件（音別町津波避難タワー整備事業建築主体工事）
	令和７年度 下水道事業会計決算認定の件		工事請負契約の締結に関する件（大楽毛津波避難タワー整備事業建築主体工事）
	令和７年度 公設地方卸売市場事業会計決算認定の件		湿原展望台の指定管理者の指定の件
条例	農業委員会の委員の定数等に関する条例の一部を改正する条例		音別地域交流拠点施設の指定管理者の指定の件
	交通安全対策会議条例を廃止する条例		生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	湿原展望台条例の一部を改正する条例	人事	教育長の任命について同意を求める件
	道路占用料条例の一部を改正する条例		教育委員会委員の任命について同意を求める件
			固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

◎賛否が分かれたもの（6件）

○賛成　×反対

市長提出議案	件名／会派名［（　）内は議員数］	自政ク(6)	共産党(4)	公明党(4)	市民連合(4)	創志会(3)	無所属※1 齋藤議員	無所属※1 木村(隼)議員	審議結果
決算	令和７年度 各会計決算認定の件	○	×	○	○	○	○	○	認　定
	令和７年度 港湾整備事業会計決算認定の件	○	×	○	○	○	○	○	認　定
議員提出議案	**件名／会派名［（　）内は議員数］**	**自政ク(6)**	**共産党(4)**	**公明党(4)**	**市民連合(4)**	**創志会(3)**	**無所属※1 齋藤議員**	**無所属※1 木村(隼)議員**	**審議結果**
意見書	新型コロナワクチン接種後の健康状態の追跡調査の実施及び公開を求める意見書（提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか２大臣）	○	×	×	○	○	×	○	可　決
	選択的夫婦別姓実現を求める意見書（提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか３大臣）	×	○	○	○	×	×	×	可　決
	核兵器禁止条約第１回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書（提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣）	×	○	○	○	×	×	×	可　決
	非核三原則の堅持を求める意見書（提出先：衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか２大臣）	×	○	○	○	×	×	×	可　決

◎請願・陳情（2件）

○採択　×不採択

	件名／会派名［（　）内は議員数］	自政ク(6)	共産党(4)	公明党(4)	市民連合(4)	創志会(3)	無所属※1 齋藤議員	無所属※1 木村(隼)議員	審議結果
陳情	北陽高校の移転は、一旦白紙に戻して北陽高校の関係者の意見を聞くことを求める件	×	×	×	×	※2	○	×	不採択
	市長・市議会議員の選挙では公職選挙法に基づく「公報」（デジタルを含む）を発行することを求める件	×	○	×	○	×	×	○	不採択

※1　現在、無所属議員は畑中議長を含め３人ですが、議長は議員としての表決ができないため、２人の氏名のみ記載しています。

※2　創志会３人のうち、採択は藤井議員、五十嵐議員の２人。不採択は大越議員の１人。

用語解説

※1　Uni-Voice Blind（公明党　松原議員）2P

視覚障がいのある方向けに開発された、音声コード「Uni-Voice（ユニボイス）」を読み取るアプリ。

※2　EBPM（創志会　大越議員）2P

政策の企画を、政策の目的を明確にした上で、合理的根拠に基づき立案すること。

※3　おでかけパスポート70（市民連合　宮田議員・公明党　河合議員）2P

高齢者の社会参加を促進し、生きがいづくりと健康づくりを推進することを目的としたバス等乗車証。釧路市に住民登録のある満70歳以上の方が対象で、おでかけパスポート70を提示すると、路線バス、阿寒・音別地域の生活交通等を1乗車100円で利用することができる（一部500円の区間あり）。

※4　グリーン定期S（公明党　河合議員）2P

くしろバスと阿寒バスにて発行している、満62歳以上で自動車運転免許証を自主返納した方を対象とした、釧路地域（くしろバス・阿寒バス）の路線バス乗り放題定期券。運転免許証を自主返納した日（取消日）から3年間購入できる。

※5　シルバー定期券65（公明党　河合議員）2P

満65歳以上の方が対象の、路線バスなどが一定の区間または全線で乗り放題になる高齢者向け定期券。

※6　ミライロID（公明党　松橋議員）2P

障害者手帳の情報を登録し、スマートフォンの画面に表示できるアプリ。対応する交通機関や施設等で画面を提示することにより、障害者割引や料金の減免等を受けることができる。

【訂正】

８月発行の「市議会だよりNo.93」に掲載した「政務活動費の執行額等実績」の表について、市民連合議員団の実績額に誤りがあり、それに伴い返還額と執行率の記載に訂正が生じました。

訂正後の正しい表を市議会ホームページに掲載していますので、詳細につきましては、右記の二次元コードよりご確認ください。